

埼玉 **アーツシアター** 通信

S A I T A M A A R T S T H E A T E R P R E S S

2014.3-4

NO. 50



わたしを  
離さないで  
NEVER LET ME GO

多部未華子・三浦涼介・木村文乃

『海辺のカフカ』 藤木直人・古畑新之

コンドルズ『ひまわり』／フィリップ・ドゥクフレ『PANORAMAーパノラマ』

堤 剛／ピアノ・エトワール・シリーズ

2014.3-4  
NO. 50

- 04 **PLAY** 『わたしを離さないで』  
多部未華子・三浦涼介・木村文乃
- 06 **PLAY** 『海辺のカフカ』  
藤木直人・古畑新之
- 08 **DANCE** コンドルズ 埼玉公演2014新作『ひまわり』  
近藤良平が語る! コンドルズ@さいたまヒストリー
- 10 **DANCE** フィリップ・ドゥクフレ カンパニーDCA  
『PANORAMA —パノラマ』
- 12 **MUSIC** 「次代へ伝えたい名曲」第1回 堤 剛 チェロ・リサイタル  
堤 剛インタビュー
- 14 **MUSIC** ピアノ・エトワール・シリーズ  
Vol.24 ベフゾド・アブドゥライモフ / Vol.25 萩原麻未 /  
Vol.26 アレクサンダー・ロマノフスキー  
アンコール! Vol. 3 小菅 優
- 17 **MUSIC** 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第25回  
NHK 交響楽団12人のチェリストたち
- 18 **CINEMA** 『ピーター・ブルックのザ・タイトロップ (原題)』
- 19 **REVIEW** 2014.1-2 彩の国のアーツ
- 20 イベント・カレンダー / チケットインフォメーション  
彩の国シネマスタジオ
- 23 THEATER BRIDGE



COVER

『わたしを離さないで』

SAITAMA ARTS THEATER PRESS 2014.3-4 No.50

編集◎市川安紀 [アルカディア社]、結城美穂子 デザイン◎中野一弘、鶴田大志、河西謙一 [bueno]

◎公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

Published on 15.March 2014 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation

※掲載情報は、2014年2月25日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

わたしを離さないで

KAZUO  
ISHIGURO

YUKIO

蜷川幸雄が世界的ベストセラー小説を相次いで舞台化する。

4月末に登場するのは、カズオ・イシグロの代表作『わたしを離さないで』。

続く6月には、2012年に初演し絶賛を博した村上春樹原作『海辺のカフカ』が、  
新たな顔ぶれを揃えて待望の再登場となる。両作品の開幕の前に、キャストたちの生の声をお届けしよう。

NINAGAWA

HARUKI  
MURAKAMI

海辺のカフカ

# わたしを離さないで

KAZUO  
ISHIGURO

YUKIO  
NINAGAWA

現代英国文学を代表する作家カズオ・イシグロが2005年に発表した長編小説『わたしを離さないで』は、後に映画化もされた世界的ベストセラーだ。今回の舞台化にあたり、脚本は人気劇作家の倉持裕が担当。過酷な運命にさらされながら成長していく3人の男女を、注目の若手俳優たちがみずみずしく演じる。

取材・文◎市川安紀



## 「決められた運命」を 生きる切なさ

MIKAKO TABÉ

多部未華子

かむくらの気持ちで観ましたけれど、決められた運命の中で生きることの切なさを感じました。蜷川さんがきっと誰も想像できないような舞台にしてくださるんだろうなと思うと、すごく楽しみです」

今回初めてとなる蜷川演出にも、臆せず騒がず。「演劇の仕事始めてから蜷川さんの作品もよく拝見していて、特に印象深いのは『ムサン』です。私は演出家の方にはわりと細かく言っていたきたいほうなんですけど、蜷川さんは比較的俳優に自由に演じさせる方だと聞きました。どんな稽古になるのか見当もつきませんが、皆さんと一緒になので何とかかな、って(笑)」

原作のカズオ・イシグロは映画好きでも知られ、2011年に来日した際に「最近の日本映画では『フィッシュストーリー』が素晴らしかった」と発言している。この作品に出演していたのが多部未華子。現実離れた設定にも繊細なリアリティが宿るイシグロの世界になじみ、儚さと強さをあわせ持つ姿を見せてくれそうだ。

たべ・みかこ 1989年東京都出身。2009年NHK連続テレビ小説『つばさ』に主演、多くのドラマ、映画で活躍。舞台は「農業少女」「サロメ」「ふくすけ」など。10年度読売演劇大賞優秀女優賞・杉村春子賞受賞。

若手3人の中で唯一、蜷川作品の経験がある三浦涼介。橋本治脚本の破天荒なロックミュージカル『ボクの四谷怪談』(2012年)では、男漁り(!)に精を出す妖しい美少年を演じ、キレのいいダンスシーンでも光彩を放っていた。前作から1年半余りで再び蜷川の演出を受けることになり、「喜びで胸いっぱいです」と率直に話す。

「蜷川さんの稽古場は衝撃ばかり。本読みの翌日に立ち稽古をやるとは思ってもいなかった(笑)。必死でしたけど、オモチャ箱みたいで本当に刺激的な日々です」

## オモチャ箱のような 稽古場

RYOSUKE MIURA

三浦涼介



## 公演概要

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念

## 『わたしを離さないで』

日時：4月29日(火・祝)～5月15日(木)

4月	29	30	5月														
	火祝	水	木	金	土祝	日祝	月祝	火祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木
13:00					★	★		★				★	★				
13:30		★		★	★				★	★	★				★	★	★
18:00	★				★		休演					★		休演			
18:30				★					★								★

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
 原作：カズオ・イシグロ(『NEVER LET ME GO』)  
 演出：蜷川幸雄  
 脚本：倉持裕  
 出演：多部未華子、三浦涼介、木村文乃 / 床嶋佳子 / 銀粉蝶 ほか

チケット(税込) 好評発売中

一般・メンバーズ：S席9,000円/A席7,000円/B席5,000円(学生3,000円)

※本公演はメンバーズ料金の設定はございません。

た。ただ自分を解放しきれなかった部分もあったので、もう一度やりたいと願っていたんです。稽古場に1分でも長くいたいですね」

今回はある「運命」を共有し、それぞれが支え合いつつも2人の幼なじみの間で揺れる青年に扮する。繊細で不器用な少年の思春期から20代後半に至るまで幅広い年代を演じることになるが、蜷川からは三浦自身によく似た役だと言われたとか。「適当だけど妙に真っすぐだったり、台本を読んで確かに似ているなど自分でも思いました」。両親が俳優という環境に育ち、自分は何者なのかを自問する機会是一般家庭に育つよりも多かっただろう。「小さい頃は自分を素直に表現できなかったけれど、大人になるにつれて知らないことは何でも聞いてみよう、どんどん吸収していこうと思えるようになりました。今が一番楽しいです」

早々に原作小説を読み、映画も観て、作品の世界に思いを馳せている。「日常生活ではあり得ない題材なのに、不思議と自分の中にスーッと入ってくる」と、稽古を前に日々愛着が募っているようだ。「自分を大事にできなければ他人も大事にできないと思う。自分にしか出来ないことを見つけてどう生きるのか、誰でも何かしら感じるものがあるはずです」と、言葉に力を込めた。

みうら・りょうすけ 1987年東京都出身。2002年俳優デビュー。ドラマ、映画で活躍し、『仮面ライダーオーズ』で人気急上昇。舞台は『ハロルドとモード』『ボクの四谷怪談』など。音楽活動も積極的に展開中。

## 3人が過ごす時間を 大切に

FUMINO KIMURA

木村文乃

ドラマ、映画と活躍も目覚ましく、年明けには若手俳優の登竜門ともいえるエランドール賞新人賞を受賞した木村文乃。NHK連続テレビ小説『梅ちゃん先生』で主人公の兄と結婚する女性を凛とした美しさで演じて注目を集め、最近では山田洋次監督の最新映画『小さいうち』など話題作への出演が目白押しだ。軽快な鼻歌とほのぼの感が心なごむ、JR東日本の「行くぜ、東北。」キャンペーンCMでの滲刺とした魅力も印象深い。作品ごとに新たな顔を見せる彼女が、蜷川作品で本格的な初舞台を踏む。

「実際にお会いした蜷川さんは、穏やかで作品に対する愛情にあふれた方でした。今は自分でも驚くほどフラットな状態なので、変に萎縮せずに蜷川さんから多くを吸収できるのではないかな、と。実際に稽古に入ったら大変だと思いますけど(笑)。「海辺のカフカ」の移動する装置が美しく大好きだったので、セットも楽しみです」

カズオ・イシグロの原作には「人間の必死さに優しく寄り添う温かさ」を感じたという。原作と映画版、今回の舞台版では描写やエピソードの取り上げ方に違いはある



が、大切な“核”は共通していると話す。

「狭い世界の話で、クールな現代人は絵空事だと思うかもしれませんが、もがきながら必死に生きる姿は人間本来のものだと思うし、共感できるところがたくさんある物語です。私が演じる役は自分の弱さをさらけ出すことで自分自身も傷つくけれど、それもすごく人間らしいな、って」

幼い頃から共に育った若者たちは、喜びも哀しみも分かち合う一方で、個人としていかに宿命と向き合うかを考え続けていく。

「3人がどう時間を過ごしてきたのかを表現することが大事だと思います。この3人ならではの空気感を作って、客席で身じろぎもせずに観ていただけたら」

きむら・ふみの 1987年東京都出身。2004年女優デビュー。ちふれ化粧品、NTTドコモなどのCMで注目される。NHK『梅ちゃん先生』などに出演。14年エランドール賞新人賞受賞。本格的な舞台は初挑戦。

世界中に熱狂的“ハルキスト”を持つ人気作家、村上春樹。2002年発表の長編小説『海辺のカフカ』は、30以上の言語に翻訳されている大ベストセラーだ。12年、蜷川幸雄は原作の世界観を余すところなく具現化し、叙情あふれる舞台を創造して絶賛を浴びた。装いも新たに蘇る今回、新加入の2人に胸中を訊いた。

取材・文◎市川安紀

主人公カフカが信頼する図書館司書の  
大島を演じるのは映像を中心に活躍する  
藤木直人。初の蜷川演出に挑む心境とは。

## カフカ少年の理解者

——村上作品は映像や舞台化される機会  
が少ないですが、『海辺のカフカ』につい  
てはどんな印象をお持ちですか。

初演の舞台は観られなかったんですが、  
原作はかなり昔に読んでいます。村上さ  
んの小説は最後に謎解きがあってスッキ  
リ解決、というタイプではなく、独特の  
空気感がありますよね。そのうえエン  
ターテイメントとしてもすごく面白い。  
『カフカ』の台本には小説の世界が凝縮さ  
れていますし、展開もスピーディーで、  
一度読んだことがある作品なのに「これか  
らどうなるんだろう?」と非常にわくわく  
しました。

——蜷川作品には初挑戦となりますね。

蜷川さんの舞台は真田広之さんの『ハム  
レット』の頃から拝見していますが、ス  
ケール感と美しさにいつも圧倒されます。  
翻訳物の難しさを感じさせずに等身大の  
シェイクスピアを演じられた唐沢寿明さ  
んも素敵でした。ただ、自分がそう出来  
るかというとまた別の話で(笑)。自分が  
蜷川さんに声をかけていただけたとは思  
っていませんでしたけど、せっかくの  
チャンスなので前向きに頑張りたいと  
思っています。

——演じる大島という役については。

カフカ少年の理解者であり、協力者で  
もあるので、彼を導き助けるという点は  
大切にしたいですね。大島には少し“特  
殊”な資質があるんですが、物語の中で  
周りの人間は気付いていないので、意識し  
すぎないほうがいいかなと。カフカ役の  
古畑さんは何と言っても蜷川さんが選ば  
れた方ですから、やはり脅威ですよ(笑)。  
僕自身も舞台の経験は少ないですし、逆  
に映像の世界で身についた方法論のよう  
なものも邪魔になるかもしれない。若い  
古畑さんにジェネレーションギャップを  
受けそうですけど(笑)、大島としてカフ  
カを見守ってみたいです。

ふじき・なおひと 千葉県出身。  
早稲田大学在学中の95年に映画  
デビュー。以後、数多くのドラ  
マ、映画で活躍する。最近の出  
演作に、ドラマ『ホテルノヒカリ』  
『ドクターX〜外科医・大門未知  
子〜』『ラスト・シンデレラ』など。  
2008年、『冬の絵空』で初舞台  
を踏む。俳優業と並行して音楽活  
動も行い、全国ツアーでのライブ  
本数は200本以上。

カフカを導き、見守りたい

NAOHITO FUJIKI

藤木直人〈大島〉

——大島が働く図書館の上司が宮沢りえ  
さん演じる佐伯で、カフカと密接に関わ  
っていきます。りえさんとは昨年のドラマ  
『神様のボート』でも共演されましたね。

そうですね、あのドラマでは彩の国さい  
たま芸術劇場で撮影もしました。年齢は僕  
のほうがひとつ上ですけど、アイドルの時  
代からずっと華やかであり続けていて、明  
るく前向きで、お芝居が大好きな素敵なた  
です。最近は蜷川さんと野田秀樹さんと



HARUKI  
MURAKAMI

# 海辺のカフカ

YUKIO  
NINAGAWA



2012年初演の舞台より Photo ©渡部孝弘

いったトップクラスの演出家さんの舞台に  
も次々と挑戦されて、すごいですよね。素  
晴らしい方々の中で、僕も少しでも勉強で  
きたらと思っています。

## 現場の楽しさを知る

——先ほど大島はカフカ少年の理解者で  
あり協力者だと話されていましたが、ご  
自身が思春期に頼れる先輩はいましたか。

う〜ん、いなかったですね。淡々と  
日々を過ごすタイプで、部活の上下関係  
も苦手だったんです。高校の軟式テニス  
部も1年でクビに(笑)。それからギター  
に出会って、毎日夢中でギターを弾いて  
ました。

——当時から芸能界や演じることに對す  
る興味はあったんですか。

「テレビの中の輝く世界に行ったら自分  
も何か変わるかもしれない」という漠然と  
した思いはあっても、芝居への興味は  
まったくなかったですね。カタい家だっ  
たのでドラマもあまり観ていなかったで  
すし、デビュー作では何も演技できません  
でした。ただ、画面に映らない所で  
すごく多くのスタッフが携わっていて、み  
んなで一つの作品をつくりあげて行く現  
場の楽しさは感じたんです。芝居という  
ものを知らずにこの世界に飛び込んで、  
現場現場で試行錯誤してきたので、演技  
の基本をきちんと学ばないまま今に至る  
ところがあって。何でも簡単に身につく  
ことなんてないでしょうけど、稽古と本  
番を重ねる中で蜷川さんに色々教えて  
いただけることは、間違いなく貴重な経  
験になると思います。蜷川さんや村上春  
樹さんのファンの方々に対してきちんと  
したクオリティーで応えられるのかとい  
う不安や怖さはもちろんありますが、生  
身の人間としてしっかり舞台上に立って  
たいですね。

## Story

「世界で最もタフな15歳になる」と心に決めた少年カフカは、1人で旅に  
出た。長距離バスに乗って辿り着いたのは四国の高松。旧家の邸宅を改装  
した甲村記念図書館で、カフカは司書の大島、当主の親戚・佐伯に出会う。  
一方、猫と話ができる不思議な老人ナカタさんも、何かに導かれるように  
四国を目指していた。それぞれの物語は、いつしか交錯していく……。

## 公演概要

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
『海辺のカフカ』

日 時：6月1日(日)～6月7日(土)

6月	1	2	3	4	5	6	7
日	月	火	水	木	金	土	
12:30							★
13:30		★	休演	★	★	★	
18:00	★						★
18:30		★			★		

※6月2日(月) 13:30の回が追加になりました。  
※当初お知らせしておりましたスケジュールから  
変更いたしました。何卒ご了承ください。  
※東京公演(赤坂ACTシアター)あり。

会 場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
原 作：村上春樹  
脚 本：フランク・ギャラティ  
演 出：蜷川幸雄  
出 演：宮沢りえ、藤木直人、古畑新之(新人)、鈴木杏、  
柿澤勇人、高橋 努、鳥山昌克、木場勝己 ほか

チケット(税込) 好評発売中  
一般・メンバーズ：S席9,800円/A席7,000円  
※本公演はメンバーズ料金の設定はございません。  
※残席僅少

新生『海辺のカフカ』オーディションで  
みごと主役カフカ役を射止めたのは、新  
人の古畑新之。GoogleのCMでルームメ  
イトとご機嫌な旅を続ける青年、と聞け  
ばピンと来る方も多いだろう。本格的な  
演技は今回が初めてだが、ナチュラルで  
人懐っこい笑顔が実に魅力的だ。オー  
ディションも平常心で臨んだのだろうと  
思いきや、「緊張しました！ちょっと間違  
えちゃって……」と照れ笑い。だが蜷川が  
「未完成な魂を持っているところがいい。  
カフカ少年の心のブレにぴったり」と惚れ  
込んだ逸材だけに、作品の核やカフカの

心情を推し量る言葉からは、繊細で豊か  
な感受性の一端をうかがわせる。

「物語を全部読み終わった時に、取り残  
されたような気分になりました。キャラ  
クターたちが住んでいる世界が恋しく  
なって。それくらい人の心を揺さぶる、  
壮大なドラマだなあとと思います。カフ  
カ少年は自分自身と対話する時間が長い  
から、人の言葉も表面ではなく、中身で  
汲み取るんです。物事も俯瞰視できるし、  
子供だけど子供じゃない。自分の心に  
従って生きてるな、って思います」

蜷川については「すごく柔らかい人」だ  
と感じるとか。「例えば子供と一緒に立  
って『あそこ何が見える?』と聞いた時  
に、答えを直接言わずに、子供が言う  
のを待ってる感じ。」

「未完成な魂」で射止めた主役

NINO FURUHATA

古畑新之〈カフカ〉



優しさと厳しさが同居しているというか。  
あと、直感がすごく鋭い人だと思う！」

これから待ち受けるのは何もかも初め  
での経験ばかり。不安や恐れと対峙する  
こともあるだろうが、「俯瞰性も失いたく  
ないけど、物語のミクロな部分も埋めて  
いけるようになったらいいなと。楽しみ  
にしつつ、覚悟しています」ときっぱり。  
古畑カフカの冒険を見届けたい。

ふるはた・にいの フランス出身。音楽活動をしな  
がら、CMやアーティストのPVに出演。2013年、  
GoogleモバイルのCMで注目を浴びる。



2006年『勝利への脱出 SHUFFLE』Photo © HARU



2008年『大いなる幻影』Photo ©池上直哉

# 近藤良平が語る! コンドルズ@さいたま

今やすっかりさいたまダンス公演の名物となったコンドルズ。8回目を数えるさいたままでの軌跡を演出・振付の近藤良平に無理やり振り返ってもらいつつ、新作『ひまわり』の構想もチラリとお裾分け。

取材・文◎市川安紀

## 【顔見世期】2006~2007

1996年に結成したコンドルズ。学ラン姿の野郎どもが爆音ロックでガンガン踊るだけでなく、脱力コントに人形劇、影絵に弾き語りにもチャブリ大喜利まで。もはやカテゴリー分けも無意味な“楽しいことてんこ盛り”のステージを展開する。初体験者を中毒リピーターへと変貌させる危険な魅力でいっぱい。

彩の国さいたま芸術劇場への初登場は2006年。『勝利への脱出 SHUFFLE』と題してサッカーW杯開催年にちなんだネタもふんだんに、メンバー12人が躍動した。ピナ・パウシュ、フォーサイズ、キリアンなど錚々たるダンス・カンパニーが

公演してきた劇場への進出に、「そんな場所でやれるのはオイシイな、と思った」と近藤は笑う。

「空間の奥行きと高さ、照明や音響の設備、それに清潔感。メチャクチャなことをしても、この劇場だとびっくりするほど素晴らしいことをやってみようと思えるんだ」

ちなみに、この年に当劇場の芸術監督に就任した蛭川幸雄への一方的な愛情表現も、以降の鉄板ネタとなる。

大好評を受け、翌07年に『太陽にくちづけ 007トゥモロー・ネバー・ダイ』が登場。「たまたま飛行機で007映画の最新作を観たから」との理由でタイトル決定。大合唱団、影絵、小林顕作による劇団コント、指人形、ポエム映像など盛りだくさん。

「合唱団って好きなんだ。この頃から影絵にハマり始めた。でも、まだ模索期かな」



2007年『太陽にくちづけ 007トゥモロー・ネバー・ダイ』Photo © Arnold Groeschel



## 【定着期】2008~2009

08年は『大いなる幻影』。ギターの弾き語り、サバンナの影絵など多彩になる一方で、近藤良平のソロをはじめダンスパートは激しくカッコよくメリハリくっきり。橋爪利博の『瀕死の白鳥』も白眉?に。

「橋爪はここからダンサーとして目覚めはじめた(笑)。影絵で弾き語りとか、アナログ感がさいたまならではのよね」

青田潤一によるエコ大演説という意表を突いたクライマックスに客席も呆然。

09年の『白と黒のナイフ』は、(丑年+裁判員制度スタート+近藤良平は牛が好き)→「白と黒」がテーマに。照明を活かした床面の幾何学的フォーメーションも美しく、ソフトとハードの両面で「白黒つける」を意識した舞台となった。

「床に凝り出したのもこの頃からで、今に続いている。女装も増えてきたし(笑)。この時には確実に“さいたまならではの”を意識してた。お客さんも、わざわざさいたままで来てくれてる、って感じがしたな」



2009年『白と黒のナイフ』Photo ©池上直哉



2006年『勝利への脱出 SHUFFLE』Photo © HARU



2008年『大いなる幻影』Photo ©池上直哉

# 近藤良平が語る! コンドルズ@さいたま

今やすっかりさいたまダンス公演の名物となったコンドルズ。8回目を数えるさいたままでの軌跡を演出・振付の近藤良平に無理やり振り返ってもらいつつ、新作『ひまわり』の構想もチラリとお裾分け。

取材・文◎市川安紀

## 【顔見世期】2006~2007

1996年に結成したコンドルズ。学ラン姿の野郎どもが爆音ロックでガンガン踊るだけでなく、脱力コントに人形劇、影絵に弾き語りにもチャブリ大喜利まで。もはやカテゴリー分けも無意味な“楽しいことてんこ盛り”のステージを展開する。初体験者を中毒リピーターへと変貌させる危険な魅力でいっぱい。

彩の国さいたま芸術劇場への初登場は2006年。『勝利への脱出 SHUFFLE』と題してサッカーW杯開催年にちなんだネタもふんだんに、メンバー12人が躍動した。ピナ・パウシュ、フォーサイズ、キリアンなど錚々たるダンス・カンパニーが

公演してきた劇場への進出に、「そんな場所でやれるのはオイシイな、と思った」と近藤は笑う。

「空間の奥行きと高さ、照明や音響の設備、それに清潔感。メチャクチャなことをしても、この劇場だとびっくりするほど素晴らしいことをやってみようと思えるんだ」

ちなみに、この年に当劇場の芸術監督に就任した蛭川幸雄への一方的な愛情表現も、以降の鉄板ネタとなる。

大好評を受け、翌07年に『太陽にくちづけ 007トゥモロー・ネバー・ダイ』が登場。「たまたま飛行機で007映画の最新作を観たから」との理由でタイトル決定。大合唱団、影絵、小林顕作による劇団コント、指人形、ポエム映像など盛りだくさん。

「合唱団って好きなんだ。この頃から影絵にハマり始めた。でも、まだ模索期かな」



2007年『太陽にくちづけ 007トゥモロー・ネバー・ダイ』Photo © Arnold Groeschel



2009年『白と黒のナイフ』Photo ©池上直哉

フィリップ・ドゥクフレ カンパニー DCA

## 『PANORAMA —パノラマ』

不思議の国のスペクタクル!

ユーモラスで詩的な空中のパ・ド・ドゥ、トリッキーな影絵やコント、次々と現れる摩訶不思議な生き物たち——。フィリップ・ドゥクフレ代表作の“ベスト・オブ・シーン”を再構成した『パノラマ』が埼玉で上演される。老若男女すべての人に贈る珠玉の舞台をどうぞお見逃しなきよう。

Photo © Christian Berthelot



文◎乗越たかお（作家・ヤサくれ舞踊評論家）

## 見どころ満載、万国共通のおもしろさ

いまヨーロッパでは、1980年代の作品が精力的に上演されている。それは単なる回顧ではない。コンテンポラリー・ダンスという新しい波が登場した時期ならではの熱と、手探りでさまざまな実験が繰り返されていた時代の自由さに満ちた伝説的な名作の数々……、それらをしっかり踊り継ごうという使命感なのである。フィリップ・ドゥクフレこそは、そうした創成期を飾るスターのひとりだ。パニョレ国際振付コンクールを『バグ・カフェ』（1983年）で受賞。その作風は親しみやすく、老若男女を問わない。高い芸術性に加え、視覚トリックを多用するなど万国共通で楽しめる要素が満載だった。

そうした珠玉のような作品の数々を、贅沢にも本人が再構成・再編成したのが本作である。タイトルの『PANORAMA』は「過去作品を広い視野で捉える」という意味もあろう。しかし元々「パノラマ」という言葉は18世紀の画家ロバート・バーカーによる「pan（全ての）+ horama（景色/視界）」からなる造語。「曲面もしくは円形の壁面いっばいに精密な風景画を描き、その中央に立つと本当にそこにいるように思える」というもので、これを使った「パノラマ館」が世界中にできた。作品中でも使われる幻灯（ファンタスマゴリア）同様、視覚トリック見世物の代表であり、ドゥクフレの本質ともいえる言葉なのだ。

そして舞台には面妖にして摩訶不思議、しかしきわめて愛らしい連中が次々に登

場する。

冒頭のズボンのポケットに手を入れたまま踊るカッコいいダンスは『コデックス』（86年）、舞台上で映像作品並みの視覚トリックを出現させた『シャザム!』（98年）など見所満載だ。浮遊感に満ちたワイヤープレイや随所に登場する発明品も楽しい。彼のカンパニー DCA は様々な新技術を研究開発する工房でもあり、その成果はシルク・ドゥ・ソレイユなどでも使われている。彼の94年の初来日作品『ブティック・ピエス・モンテ』（93年）ではダンサーを逆さにして踊らせたし、日本国内で制作した『イリス』（03年）や、ドゥクフレ自身の『ソロ』（03年）では実物と区別がつかないほどの精密な映像を使うなど、古風な演出に最新のテクノロジーが編み込まれていたのだ。

## 衣裳や美術、丸ごと舞台を楽しむ

もうひとつ注目すべきなのがコスチュームである。彼が世界的にブレイクしたアルペールビル冬季オリンピックの開・閉会式の演出で見せた「土地の妖精などのカラフルな被り物の行進」は、いまだにお手本とされている。

本作でも水泳用の脚ヒレのようなあきらかに舞台上では歩きにくいものや、軟体動物のような身体が変形する衣裳をあえて着させたりする。見た目の楽しさだけではなく、衣裳の負荷から生み出される動きもまた「振り付け」だと考えているからだ。

じつは80年代、これは画期的なことだった。なぜならそれ以前に主流だったポスト・モダンダンス等はどんどん装飾性を排除していったからだ。あげく本来

は練習着だったレオタードで踊り、「身体そのもので勝負してこそダンス!」という機運が強かった。しかし「そういう純粋性はつまらん」と登場したのがコンテンポラリー・ダンスだったのである。なかでもひときわ奇天烈な衣裳や美術を盛り込んだドゥクフレの舞台は、「ダンスはもっと豊かで広い魅力を持っているんだ」という強烈なメッセージでもあったのだ。

それは錯覚、あるいは幻かもしれない。しかしいつの時代も人は夢があるから生



Photo © Laurent Philippe

きて来れたし、それを支えたものこそアートだったのである。だからこそこの『PANORAMA』で描かれる30年間の軌跡は、いま見てもなお新しく、観客をワクワクさせてくれるのだ。

## SPECIAL COMMENT ～吹越 満～

フィリップらしいタイトルだ。次々に移り変わる光景。四方を見渡すための装置。DCA 過去の作品の再構成ならば、彼の頭の中を一望する、という意味でもパノラマが。巨大な脳の真ん中にズブリと着席し頭蓋骨の裏側を見上げてみる。

——愛と憎しみと巧妙な悪戯。青くなる赤は双子。猫背のプリマの見事な棒立ち。傷のない床のセンス。暑くなり熱くなる。書庫の軽業が三人。四角い瞳は中国への窓。単なる巨人。虫の万華鏡。不完全な下着。利己主義な香水。鏡のパスセ。冬の行列。炎。瞬きを忘れても平気なのは濡れているから。見渡す限り脳ミソ。頭蓋骨は踊る。危ない……

タイトルや背景、場繋ぎのためだけに映像を使う舞台はあまり好きではない。きっと彼もそうだ。

いつだったか、数年振りに会った彼が、おもむろに私の肩腕を触り『動いているか?』と尋ねてきたことがある。何を言いたいのかはすぐに分かった。想像し、発見し、行い、痛みを感じるの、即ち身体だ。



ふきこし・みつる

1965年生まれ。84～99年ワハハ本舗に参加。89年から続く『フキコシ・ソロ・アクト・ライブ』では実験的な〈演技〉を展開している。96年、ドゥクフレ演出の『DORA 100万回生きたねこ』に出演。2006年、ドゥクフレ『ソロ』の来日公演では日本語吹替えを担当した。数多くの舞台や映像作品で活躍し、現在公開中の映画『土竜の歌』、『東京難民』、NHK大河ドラマ『軍師官兵衛』、ドラマ『僕のいた時間』に出演中。

## 公演概要

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念

## フィリップ・ドゥクフレ カンパニー DCA 『PANORAMA —パノラマ』

日 時：6月13日（金）開演19:30、14日（土）・15日（日）開演15:00  
（上演時間/約85分・途中休憩なし）

※演出の都合により、開演時間に遅れますとお席への案内ができない場合がございます。

会 場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

演出・振付：フィリップ・ドゥクフレ

出 演：カンパニー DCA +ゲスト出演 スズキ拓朗

チケット（税込）好評発売中

一 般：S席5,000円/A席3,500円

学生（高校生以上）：S席3,000円/A席2,000円

子ども（4歳～中学生）：S席1,500円/A席1,000円

メンバーズ：S席4,500円/A席3,200円

※A席（サイドバルコニー・2階席の一部）は舞台の一部が見切れます。予めご了承ください。

【ドキュメンタリー映画『クレイジーホース・バリ 夜の宝石たち』上映決定!】

ドゥクフレ演出・振付のショー『DESIRE』が登場! 詳細はP.22にて



Photo © Christian Berthelot



Photo ©鍋島徳恭

# 堤剛 インタビュー ～次代へ伝えたい名曲

彩の国さいたま芸術劇場の開館20周年を記念して、音楽ホールで始まる新しいシリーズが「次代へ伝えたい名曲」。日本のトップ・アーティストたちが、それぞれの観点から選んだ「次の世代へ受け継ぎたい名曲」を自らが演奏するシリーズだ。第1回目に登場するのはチェロ界の大御所、堤剛。彼が選んだ作品は、J. S. バッハの無伴奏チェロ曲、ベートーヴェン、シューベルト、バルトーク、武満徹というラインナップだ。

取材・文◎片桐卓也（音楽ライター）

「チェロの歴史的名曲は本当にたくさんあって、チェリストそれぞれの好み、得意な作品などもあるでしょうから、違う方が選べばまったく違う作品になるでしょう。私の場合は、自分にとって思い出深い作品、人生の節目に出会った作品などを考えて、こうした選曲になりました。今回は特別な演奏会なので、自分にとって意義ある作品を選んでみたら、バロックから現代までと、時代もかなり幅広く、作品の個性もさまざま、結果的にとてもバランスの良い選曲になったと思います」

では、そのひとつひとつの作品への想いをうかがおう。

「バッハの無伴奏チェロ曲ですが、これは全6曲あり、それぞれが個性を持っています。チェリストにとって『旧約聖書』とも呼ばれる作品群で、避けては通れない作品です。私はチェロを始める前はヴァイオリンを2年間鈴木メソッドで習ってまして、鈴木鎮一先生が編纂した教則本にもバッハの作品がありました。SPレコードで最初に聴いたチェロ曲もバッハの無伴奏曲でした。チェロを学ぶ前からバッハに親しんでいて、バッハは自然に私の中に入って来たと思っています。そしてチェロに転向して斎藤秀雄先生に師事した時に、齋藤先生は『バッハはすべての音楽の基礎になる』とおっしゃって、師事して1年後、小学校の3年生だったと思いますが、このバッハの無伴奏曲第1番のレッスンが始まりました。齋藤先生はまさに一音一音の意味、作品の

構造を体系的に教えてくださって、楽譜にどんどん書き込んでいくのですが、その手書きの指示がある楽譜はいまだに持っています」

バッハが「旧約聖書」なら、「新約聖書」にあたるのがベートーヴェンのチェロ・ソナタである、と堤。

「ベートーヴェンのチェロ・ソナタで一般的に有名なのは第3番（作品69）だと思いますが、第4番と第5番（作品102）はベートーヴェンの後期の入り口に位置する作品です。ベートーヴェンの後期というのは独特の精神性が作品にあります、音の数も少なくなって来ます。一音に込められた意味が深く、重くなって来るのです。特に第5番は、その一音の意味を考えさせられる作品で、遅いテンポの第2楽章、フーガを取り入れた第3楽章が後期のベートーヴェンらしさを持っています。チェリストのためにベートーヴェンがフーガを書いたということは本当に嬉しいことです。ピアノが難しくなるのですが、今回ピアノを演奏してくださる上田晴子さんは室内楽の経験の豊富な素晴らしいピアニストなので、共演が楽しみです」

シューベルトの《アルペジオーネ・ソナタ》は本来、アルペジオーネという新しい楽器のために書かれた作品だった。

「想定された楽器は違いますが、ロマン派初期に書かれた弦楽器のための作品として、格別の美しさを持っている作品。チェリストにとっては数少ないロマン派の名曲です。実際の演奏は難しい点もありますが、チェロの名曲として永遠に弾き続けて

欲しい作品です」

そして現代日本から武満徹の《オリオン》が選ばれた。

「日本人として、日本人の作曲家の作品を演奏してゆくのは、ひとつの使命だと思います。その点で、武満さんがこのような美しい作品を残してくれたことを誇りに思います。だからこそ私たちが演奏して、これを海外の方々、後世の人々に紹介してゆく責任があるのです」

さらに20世紀を代表するハンガリーの作曲家バルトークの《ラプソディー第1番》も。「私はアメリカのインディアナ大学に留学

し、そこでハンガリー出身の巨匠シュタルケルさんに師事したのですが、そのシュタルケルさんから直伝で教えて頂いた作品です。オリジナルはヴァイオリンとピアノの作品です。シュタルケル先生が語るバルトークのエピソードも面白く、その作品が生まれた時代の息吹を知る方から教えて頂いた作品として、大事に演奏してきました。それでこれを選びました」

次代の演奏家たち、聴衆たちが、この大先輩の演奏からメッセージを受け取る。そしてそれをさらに後世に伝えていく。とても大事なシリーズが始まる。

Photo ©青柳 聡



堤剛（つづみ・つよし）／チェロ

名実ともに日本を代表するチェリスト。齋藤秀雄に師事した後、米国インディアナ大学に留学し、J. シュタルケルに師事。63年、ミュンヘン国際コンクール第2位、カザルス国際コンクール第1位。録音における活躍も目ざましく、『バッハ無伴奏チェロ組曲全6曲』、『ベートーヴェン・チェロ・ソナタ全集』などで受賞多数。10年に演奏活動60周年記念盤『アンコール』、13年に『アノバーサリー』がリリースされ絶賛を浴びている。04年～13年、桐朋学園大学学長を務め、現在、霧島国際音楽祭音楽監督、サントリーホール館長を務める。2013年、文化功労者に選出。日本芸術院会員。

## 公演概要

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画  
「次代へ伝えたい名曲」  
第1回 堤剛 チェロ・リサイタル

日 時：5月24日（土）開演14:00  
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
出 演：堤剛（チェロ）、上田晴子（ピアノ）  
曲 目：バッハ／無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV 1007  
ベートーヴェン／チェロ・ソナタ第5番 二長調 作品102-2  
シューベルト／アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D 821  
武満徹／オリオン  
バルトーク／ラプソディー第1番 Sz. 88, BB 94c（チェロ&ピアノ版）

チケット（税込）好評発売中  
一 般：正面席4,000円／バルコニー席3,000円（学生1,500円）  
メンバーズ：正面席3,600円



上田晴子（うへだ・はるこ）／ピアノ

東京藝術大学卒業、同大学院修了後に渡仏。パリ・ヨーロッパ音楽院卒業。1986年、ロン＝ティボー国際コンクール入賞、95年日本国際ヴァイオリンコンクール最優秀伴奏者賞などを受賞。J. J. カントロフ、P. ヴェルニコフ、O. シャルリエ、千々岩英一、S. ルセフ、B. バスキエ、堤剛、エネスコ弦楽四重奏団などと共演。録音は『M. アリニョンの至芸』、カントロフとのCD『ドナホニ、エネスコ・ヴァイオリンソナタ集』、『エネスコ、ブゾーニ・ヴァイオリン作品集』など。現在、パリ国立高等音楽院ピアノ科・室内楽科助教授、桐朋学園大学大学院ピアノ科・室内楽科教授。

# エトワール

## Piano Étoile series

### ——新しい星の瞬き

文◎青澤隆明（音楽評論家）

「星々の悲しみ」という短篇を読んだときは、私もまだ10代後半のことで、自分が年をとるなどということは真面目に考えてもみなかった。夭折の画家の絵を喫茶店から盗み出す物語で、おそらくそれが初めて読む宮本輝の本だったと思うが、以来いちども再読していない。

数年来、ときめく新星の輝きを綴ってきた「ピアノ・エトワール・シリーズ」が、「アンコール!」も始めたとき、ふとそのことを思い出した。たんに感傷的な気分からではなく、青春特有の感情、そして眩いまでの速度で刻々と変化する彼らの生演奏にどう向き合おうかと改めて思っていたからだった。誰にでも10代があり、20代があ

り、そしていまがあって、それは過ぎたわけでも、ずっと同じわけでもないが、たしかにそのときそこにしかないものだ。それは、現在の瞬間だけに集中しながらも、未来に向けて微笑みかけるなにかをもっていた。

シリーズの24人目がベフゾド・アブドゥライモフ。続いて、萩原麻未、アレクサンダー・ロマノフスキーが、当劇場音楽ホールの恵まれた環境と聴衆のもとにやってくる。アンコールに就いて本シリーズとしては7年ぶりに登場する小菅優のように、彼や彼女ともまたいつか再会を果たすかもしれない。しかし、いまはいまの瞬間しかない。音楽という魔法がなにより鮮やかに示すように。

## Vol.24

### ベフゾド・アブドゥライモフ

ベフゾド・アブドゥライモフのピアノを私が初めて聴いたのは2012年夏、クシシュトフ・ウルバンスキの指揮する東京交響楽団との共演で、それが新鋭の日本デビューだった。チャイコフスキーの協奏曲第1番で、高い技巧と節制の利いた表現を貫き、粒の整った音で安定した演奏を聴かせた。ほんとうのことを言えば、私はもう少し激しさや大胆な感情の表出を求めたかったが、そういう意味では「大人しい」立派な演奏であった。コンチェルトはいろいろの事情があるだろうから、次はやはりリサイタルでじっくり聴きたいと思った。

その演奏会のすぐ後に、リストとホロヴィッツの編曲したサン＝サーンスの《死の舞踏》で始まり、プロコフィエフの《悪魔的暗示》とソナタ第6番、リストの《孤独のなかの神の祝福》という濃密な選曲での

アブドゥライモフのデビュー盤を聴いた。ここには期待された情念の激しさや濃密な集中が宿るが、それを統御する強かな意志は、勢いにまかせて突き進む熱狂とはちがって、古典的とも言えるような均整を自らに課している。

6月のリサイタルはその《死の舞踏》とラヴェルの《夜のガスパール》に、ベートーヴェンの変イ長調ソナタ作品26、ショパンの幻想曲、シューベルトの即興曲が織りなされている。多種多様なピアノ作品を通じて、アブドゥライモフの真価が示される好機となるだろう。

アブドゥライモフは1990年、タシュケントの生まれで、いま20代半ば。2009年にロンドン国際ピアノ・コンクールで優勝、2010年のウィグモア・ホールでのリサイタル・デビューも称賛を得て、翌年デッカと契約したのだという。アシュケナージから大きなサポートを得ており、今回の来日でもNHK交響楽団の定期演奏会にラフマニノフの協奏曲第3番で初登場する。

Photo ◎ Ben Ealovega



### ベフゾド・アブドゥライモフ

Behzod Abduraimov

1990年タシュケント生まれ。2009年ロンドン国際ピアノ・コンクール優勝。名門デッカと専属契約を結び12年にCDをリリース、数々の賞を獲得。今年マゼール指揮ポストン響、アシュケナージ指揮N響にデビュー予定。

*Behzod Abduraimov*



Photo ◎ 武藤 章

### 萩原麻未 はぎわら・まみ

2010年ジュネーヴ国際コンクール ピアノ部門にて日本人初かつ8年ぶりの優勝者として大きな話題を集める。第13回ホテルオークラ音楽賞、第22回新日鉄音楽賞 フレッシュアーティスト賞などに加え、12年春には文化庁長官表彰（国際芸術部門）を受けた。

## Vol.25 萩原麻未

萩原麻未はマイ・ペースで歩む人のだろう。大きく世界的话题をさらった、2010年11月、ジュネーヴ国際コンクールの最終ステージの映像に後日ふれたとき、ラヴェルの協奏曲を弾いて、いちばん伸び伸びと自分の音楽を呼吸しようとしていたのは彼女だと思った。

18歳のとき出会ったジャック・ルヴィエのもとで学んでいた彼女が、1位をなかなか出さない難関に、日本人として初めて優勝してから早くも3年の歳月がめぐった。突然に増えた演奏会の機会に戸惑っていた彼女も、自分のペースで取り組むことに落ち着きを見せた頃だろう。「エトワール」にはちょうどよい時期での登場になるのではないかと。

いまも拠点はパリに置きつつ、ザルツブルクのモーツァルテウム音楽院で研鑽を積むが、レパートリーの中心はやはり

少女時代から愛するフランス近代の音楽だ。今度のリサイタルでは、フォーレの夜想曲、ドビュッシーの《ベルガマスク組曲》と《喜びの島》を弾き、ラヴェルの《高雅で感傷的なワルツ》と《ラ・ヴァルス》を舞う。一口でフランス近代とはいうものの、際立って異なる作曲家それぞれの個性を、相応しい色彩と精神のありようでどう描き分けるかが期待される。

ちょっとした驚きはフレデリック・ジェフスキーの《ウィンズボロ・コットン・ミル・ブルース》がしめくりに演奏されることだ。政治や社会に鋭い意識をもつ偉才が1979年に書いた《ノース・アメリカン・バラッド》の4曲は、ピート・シーガーと交友した彼が労働歌とプロテスト・ソングをベースにしたもので、これはその終曲。近年、「エル・システム」との協同なども含め、社会的関心を高める現在の萩原麻未だからこそこの選曲だろう。表現者として、機熟しての登場となるわけだ。

## Vol.26

### アレクサンダー・ロマノフスキー

アレクサンダー・ロマノフスキーのピアノは、透徹した響き、明晰で端正な構築のうちにノーブルな品性が輝く。それは、冷静さや覚醒とともにあって、強く情感の求める表現をバランスよく抑制して聴かせる。水際立った音の透明な美しさ、光輝や色彩にまず惹きつけられるが、その響きの中にはウクライナの強烈な情感、ロシア文化の内向的な性格、そして13歳から暮らすというイタリアの光彩と造形美が鮮やかに結実している。

ウクライナ出身の名手と聞けば、おのずとホロヴィッツのことが思い浮かぶが、ロマノフスキーはその実姉レジーナの愛弟子であるレオニード・マルガリウスに14年間師事した。イタリアへの移住も、同朋の師を追ってイモラ・ピアノ・アカデミーに入ったというのがいきさつだ。それからロンドン王立音楽大学でアレクセーエフにも師事している。

2000年の初来日を私は聴いていない

が、2012年と13年の春に来日して、目覚ましい演奏を聴かせた。軽快な音が直截に放たれて、それだけで大きな手と長い指の持ち主と知れるが、身体的な余裕と俊敏な技巧は造型の細部までを透過し、精妙な構築を導くことに繋がっている。今年で30歳だが、内面的な成熟がどのような深化をもたらすか、これからが大いに楽しみなピアニストである。

ドイツの作品にも積極的なロマノフスキーだが、やはりラフマニノフとの相性の良さは抜群で、高度の構築と冴えやかな技巧のうちに、高貴さを息づかせてみせた。今回のプログラムで、ショパンの変口短調ソナタに、どのような作品が組み合わせられるのかも楽しみだ。



### アレクサンダー・ロマノフスキー

Alexander Romanovsky

ウクライナ生まれ。ソリストとしてゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管、プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管、ロイヤル・フィル、イギリス室内管などと共演。これまでラヴィニア音楽祭はじめ世界の主要な音楽祭に招かれる他、世界各国でリサイタルを行っている。

*Alexander Romanovsky*

アンコール! Vol.3 小菅 優

ヨーロッパに長く暮らす小菅優の進境は、日本でもますますダイレクトに追えるようになってきた。彼女の関心の行く先や、演奏表現の成熟がまざまざと感じられるのは、聴き手としてはそれこそ頼もしいかぎりだ。ショパンやリストの大曲に目覚ましい技巧を示したレコーディングを驚きをもって聴いたのは、もう10年以上も前のことになる。

ベートーヴェンのピアノ・ソナタのテクニクスが、リサイタルでもレコーディングでもいよいよ佳境に入ってきたが、それだってこれから何度も取り組むだけの意欲と余裕がある。ライブ・レコーディングもなされた小澤征爾指揮水戸室内管弦楽団との、メンデルスゾーンの協奏曲第1番も鮮やかな出来栄で、ドイツのレパートリーの核心に迫る彼女の探求をしっかりと、そして生気に充ちて輝かしく示すものだった。

今秋は「アンコール!」を受けて登場するが、小菅優が初めて「ピアノ・エトワール」に登場したのは2007年12月のことだった。残念なことに私は聴けなかった

が、それはシリーズの第4回だから、「未来の巨匠」への期待をこめたこのプロジェクトに、小菅優の当時の躍進は大きく欠かせないものだったのだろう。そのときのリサイタルは、バッハの《インヴェンションとシンフォニア》、リストの口短調ソナタ、そしてノクターン《夢のなかに》という堂々たるプログラムで、アンコールにはショパンのエチュードとノクターンを演奏したときく。

そして、7年ぶりのシリーズ再登場もまた、バッハから始まる。その幕開けは《イタリア風の Aria と変奏》だが、ここからリサイタルの後半に置かれたリストのイタリアへと想像力は大きく羽ばたいていく。その《エステ荘の噴水》から、口短調バラードを経て、ワーグナーの《イゾルデの愛の死》の編曲と続くのが、終盤へ向けてのクライマックス。その前に、武満徹の《雨の樹素描》の2作があり、ベートーヴェンからはハ長調ソナタ「ヴァルトシュタイン」が選ばれている。ピアノ音楽の2世紀半をめぐる切実なプログラムに、小菅優のこれまでの旅がどのように映し出されてくるだろうか。新しい季節へ向かう期待をこめて、いろいろの夢をみたい。

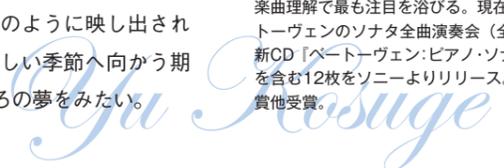


Photo © Marco Borggreve



小菅 優 こすげ ゆう

高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で最も注目を浴びる。現在、東京、大阪でベートーヴェンのソナタ全曲演奏会（全8回）を行う。最新CD『ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ集第2巻「愛」』を含む12枚をソニーよりリリース。第17回出光音楽賞他受賞。



公演概要

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念 ピアノ・エトワール・シリーズ

Vol.24 ベフゾド・アブドゥライモフ

日時: 6月8日(日) 開演15:00  
 曲目: ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ第12番 変イ長調 作品26  
 ショパン/幻想曲 へ短調 作品49  
 サン＝サーンス(リスト&ホロヴィッツ編曲)/死の舞踏  
 シューベルト/《4つの即興曲》D 899 作品90より 第3番、第2番  
 ラヴェル/夜のガスパール

Vol.26 アレクサンダー・ロマノフスキー

日時: 2015年1月17日(土) 開演15:00  
 曲目: ショパン/ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 作品35 ほか

会場: 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

チケット(税込)

【1回券】

〈Vol.24 ~ Vol.26〉一般: 正面席3,500円/バルコニー席2,500円(学生1,000円)  
 メンバーズ: 正面席3,200円  
 〈アンコール! Vol.3〉一般: 正面席4,000円/バルコニー席3,000円(学生1,500円)  
 メンバーズ: 正面席3,600円

Vol.25 萩原麻未

日時: 6月22日(日) 開演15:00  
 曲目: フォーレ/夜想曲第1番 変ホ短調  
 フォーレ/夜想曲第4番 変ホ長調  
 ドビュッシー/ベルガマスク組曲(前奏曲 メヌエット 月の光 パスビエ)  
 ドビュッシー/喜びの島  
 ラヴェル/高雅で感傷的なワルツ  
 ラヴェル/ラ・ヴァルス  
 ジェフスキー/ウィンズゴロ・コットン・ミル・ブルース

アンコール! Vol.3 小菅 優

日時: 9月13日(土) 開演15:00  
 曲目: バッハ/イタリア風のAriaと変奏 BWV 989  
 ベートーヴェン/ソナタ第21番 八長調 作品53「ヴァルトシュタイン」  
 武満 徹/雨の樹素描  
 武満 徹/雨の樹素描II-オリヴィエ・メシアンの追憶に-  
 リスト/《巡礼の年 第3年》より《エステ荘の噴水》  
 リスト/バラード第2番 口短調  
 ワーグナー(リスト編曲)/イゾルデの愛の死

【4公演セット券(Vol.24 ~ 26、アンコール! Vol.3)】

一般・メンバーズ: 正面席12,500円/バルコニー席10,500円(学生4,500円)  
 発売日: 【Vol.26】一般7月26日(土) メンバーズ7月19日(土)

【アンコール! Vol.3】一般4月19日(土) メンバーズ4月12日(土)

※Vol.24、Vol.25の1回券、4公演セット券は好評発売中。

# NHK交響楽団のチェロ奏者 12名が勢揃い!



文◎飯尾洋一(音楽ライター)

チェロの音色は人間の声に近いと言われる。弦楽器のなかでも音域が人声に近いことに加えて、歌うようなのびやかさと、深い響きによる豊かなニュアンスを持つことがその理由だろう。

そんなチェロの魅力をアンサンブルでたっぷりと味わえる公演が「NHK交響楽団 12人のチェリストたち」だ。N響が誇る12人の名手たちが一堂に会して、多彩な作品を聴かせてくれる。

通常、同一楽器のみによるアンサンブルは響きの同質性ゆえに困難が生じるものだが、チェロの場合は別だ。その音域の広さ、表現力の幅広さを活かして、盛んにアンサンブルが行われている。おかげで、この分野には名曲も数多く残されている。

クレンゲル、ポッパー、フィッツェンハーゲンといった作曲家は、それぞれに名チェリストとして活躍しながら、チェロのための作品を残した音楽家である。楽器の特性を知り尽くした作曲家が、アンサンブルのための作品を残してくれているのだから、いずれもチェロの魅力が最大限に発揮される作品ばかり。たとえばチェロ十二重奏という分厚い編成のた

めに書かれたクレンゲルの《賛歌》。繊細で玄妙な響きはこの編成にしてはじめて聴けるものだ。また、フィッツェンハーゲンの名はチャイコフスキーより《ロココの主題による変奏曲》を献呈された人物としても知られている。フィッツェンハーゲンは独断でこの作品に手を加えて初演したことからチャイコフスキーの機嫌を損ねたが、なるほど、当人にも作曲の腕に覚えがあったからこそこの改訂だったということが、彼の《演奏会用ワルツ》を聴

けば納得できる。そして、「日本の歌」ではだれもが知るおなじみのメロディを楽しめる。

ともにN響首席奏者を務める藤森亮一、向山佳絵子の夫妻共演も聴きどころ。オーケストラ公演では原則として首席奏者の一人のみしか舞台に乗らないので、共演の機会は貴重だ。もとよりアットホームな雰囲気があるというN響チェロ・セクションのこと、息の合ったところを聴かせてくれることだろう。

公演概要

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第25回 NHK交響楽団12人のチェリストたち

日時: 4月25日(金) 開演12:10 (終演予定13:00)  
 会場: 埼玉会館 大ホール  
 出演: 藤森亮一、向山佳絵子、藤村俊介、桑田 歩、銅銀久弥、山内俊輔、西山健一、三戸正秀、村井 将、宮坂拓志、渡邊方子、市 寛也  
 曲目: クレンゲル/賛歌\*  
 ポッパー/演奏会用ロネーズ\*\*  
 ガルデル/ボル・ウナ・カペーサ(首の差で)\*\*  
 フィッツェンハーゲン/演奏会用ワルツ\*\*  
 三枝成彰 編曲/日本の歌(おぼろ月夜、ずいずいづつころばし、荒城の月、  
 こんびらふねふね、てんさぐの花)\*  
 \*...チェロ十二重奏 \*\*...チェロ四重奏

チケット(税込) 好評発売中  
 全席指定 1,000円

演劇界の巨匠ピーター・ブルックの創作現場。  
その秘められた扉が ついに開く!

# 『ピーター・ブルックのザ・タイトロープ(原題)』

Peter Brook: The Tightrope

文◎河合祥一郎(東京大学教授)

演劇に興味のある人なら誰だってピーター・ブルックの稽古場をのぞいてみたいと思うだろう。ブルックの息子の映画監督サイモン・ブルックが父親の稽古場を撮影して86分の映画にまとめたとなれば、これはもう必見である。

その名は『Peter Brook: The Tightrope』(綱渡り)。想像上の綱渡りをするエクササイズ——すなわち、「なにもない空間」において、想像力と身体的集中が合致したときにリアルが生まれ、ストーリーが生まれるというエクササイズ——をブルックは重要視しているのだ。

これは、ヨシ筈田らブルックにゆかりのさまざまな国籍の俳優たちや、長くブルック作品の音楽を担当してきた土取利行が一堂に会して行った2週間のワークショップを5台の隠しカメラで収録したものであり、綱渡りのほかにも、言葉を相手に伝える即興や、皆が一つのまとまりとなって思考するエクササイズなど、ブルックがこれまで培ってきた「演劇の本質」を追求する手法がさまざまに展開される。

ワークショップのなかでブルックは俳優たちに重要なポイントを語っていく。「なにもない空間」がなぜ重要なのか、演劇が目指すべきクオリティー(質)とはいかなるものか、「序破急」というドラマの流れをどのように身体に入れていけばよいのか……それらは彼が長年の演劇人生をかけて蒸留した演劇のエッセンスにほかならない。

そして、『ザ・マン・フォー』『テンペス

ト』『魔笛』『ザ・スーツ』など、ブルックの近年の作品の稽古風景がダイジェストのように組み込まれていく。まさにブルック演劇の結晶だ。演劇人はもとより、一般の人でも、この映画を見れば今後の演劇の見方が変わってくるのではないだろうか。

同時上映される映画『Brook by Brook』は、ドキュメンタリー映画を手掛けるサイモン・ブルックが2002年に初めて父親を題材に撮ったドキュメンタリー映画である。『Peter Brook: The Tightrope』が演劇に携わる者に演劇の極意を伝える指南書だとすれば、こちらはピーター・ブルックがどのような時代を経て何を目指して生きてきたかを語る伝記として興味深い。2012年3月早稲田での上映会で私がサイモンとトークをしたのはついこのあいだのように感じられるが、今年7月の上映会の際にも再び彼とトークができるのが今から楽しみだ。

## 公演概要

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念

【A】ドキュメンタリー映画

『ピーター・ブルックのザ・タイトロープ(原題)』

(86分/英語・フランス語上映/日本語字幕付)

★全国ロードショーに先駆けた特別先行上映です!

【B】ドキュメンタリー映画

『Brook by Brook』

(72分/英語・フランス語上映/日本語字幕付)

日 時: 7月19日(土) 12:30(A)\* / 16:00(B) / 18:00(A)\*  
20日(日) 11:00(A) / 14:00(B) / 16:00(A)

\*…サイモン・ブルックによるアフタートークを行います。

会 場: 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

監 督: サイモン・ブルック

チケット(税込)

【1作品】一般・メンバーズ: 1,000円(当日1,200円) 学生: 500円

【2作品セット券】一般・メンバーズ: 1,500円(当日2,000円) 学生: 700円

発 売 日: 一般4月6日(日) メンバーズ4月5日(土)



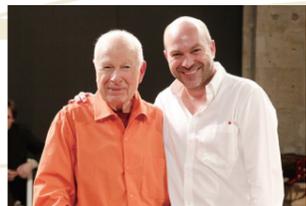
『Peter Brook: The Tightrope』より ©Brook Productions/Daniel Bardou

## ピーター・ブルック Peter Brook

1925年ロンドン生まれ。46年、シェイクスピア記念劇場(現RSC)の史上最年少演出家となり、『リア王』、『真夏の夜の夢』などを演出。国際演劇研究センター(C.I.R.T.のちのC.I.C.T.)をパリに設立。74年にブッフ・デュ・ノール劇場を開場し、『鳥の会議』『桜の園』『テンペスト』『マハーバーラタ』など話題作を次々と発表。近作に『ピーター・ブルックの魔笛』『ザ・スーツ』など。4月に新作『The Valley of Astonishment』を上演予定。主な著書に『なにもない空間』、自伝『ピーター・ブルック回想録』など。

## サイモン・ブルック Simon Brook

ロンドン生まれ。映画監督・映像作家。ピナ・バウシュやデイヴ・ブルーベックカルテットの欧州ツアーでカンパニーマネージャーを務める。ニューヨークでブラック・キャット・プロダクションを設立、TVドラマ、ミュージックフィルムなどの製作に携わる。以後、フランスを拠点に多くの映画で監督、作家、プロデューサーとして活躍。2002年『Brook by Brook』では、初めて父ピーター・ブルックのドキュメンタリーを手掛けた。



ピーター(左) & サイモン・ブルック親子 ©Brook Productions/Daniel Bardou

## REVIEW 2014.1→2

彩の国のアーツ

PLAY 2月15日~27日

さいたまネクスト・シアター第5回公演  
『2014年・蒼白の少年少女たちによる「カリギュラ」』

Photo ©細野晋司



内田健司(右)

川口覚(左)、内田健司



浅野望(左)、内田健司



『ヴォルフガング・ボルヒェルトの作品からの九章』で好演した内田健司をタイトルロールに抜擢。自覚的な狂気と凶暴さを身にまとい、自らの破滅を予感しながら彼なりの「論理」を追求せずにはいられなかった若き皇帝の荒ぶる魂が、ひりつくような痛みを伴って観る者の心を激しく揺さぶった。敵であれ味方であれ、深くカリギュラに関わろうとする者はみな、図らずも彼のことを「理解」してし

まうようになる。カリギュラは蜷川幸雄の自画像であると同時に、今日を生きるネクストの若者たちの自画像でもある。おそらく彼らは、蜷川自身の中でいまだに飼いなすことのない「カリギュラ的なもの」を自分たちの分身として切実に共感し、蜷川と共振しえたのではないだろうか。「与えられた戯曲に挑む」段階を超え、彼らは真に「考え」出したのかも知れない。カリギュラのように。

MUSIC 1月11日

埼玉会館ニューイヤー・コンサート2014

新日本フィルハーモニー交響楽団 小泉和裕(指揮) 中嶋彰子(ソプラノ) 中井美穂(司会)

新春を華やかに彩る埼玉会館ニューイヤー・コンサート。まずは欧米のオペラハウスで活躍を続ける中嶋彰子が登場。レハールの「唇に熱き口づけ」や「誰かがくるでしょう」など魅惑のオペレッタ・アリアを情熱的に歌いあげ、そのドラマティックな歌声に会場の熱は一気に高まった。コンサートの締めくくりは、新日本フィルハーモニー交響楽団と厚い信頼関係で結ばれた小泉和裕の指揮によるドヴォルジャークの《新世界から》。作曲家の故郷ボヘミアへの郷愁に満ち溢れた名旋律の数々が情感豊かに奏でられ、余情を湛えた音色が心に響いた。

Photo ©加藤英弘



PLAY		DANCE		MUSIC		CINEMA		
march		march		march		march		
開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	
15 土				15	ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.2 北村朋幹 開演：14:00	15	土	
16 日				16		16	日	
17 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場・熊谷会館)			17		17	月	
18 火				18		18	火	
19 水	休館日(埼玉会館)			19		19	水	
20 木		20	ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団 「コンタクトホーフ」 19:00 ※予定枚数終了。当日券販売予定。詳細については、公演当日午前10時以降にSAFチケットセンターにお問い合わせください。	20		20	木	
21 金		21		21		21	金	
22 土		22		22		22	土	
23 日		23		23		23	日	
24 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			24		24	月	
25 火				25		25	火	
26 水				26	光の庭プロムナード・コンサート うた・唄・歌 ～世界の古歌を巡って～ 開演：14:00 会場：彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ 出演：奏形亜樹子(オルガン・ソロ) 曲目：ティトルルース/めでたし海の星 ほか ※入場無料	26	水	
27 木				27		27	木	
28 金				28		28	金	
29 土				29		29	土	
30 日				30		30	日	
31 月				31		31	月	
4 april		4 april		4 april		4 april		
1 火				1		1	火	
2 水				2		2	水	
3 木				3		3	木	
4 金				4		4	金	
5 土				5		5	土	
6 日				6		6	日	
7 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			7		7	月	
8 火				8		8	火	
9 水				9		9	水	
10 木				10		10	木	
11 金				11		11	金	
12 土				12		12	土	
13 日				13		13	日	
14 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			14		14	月	
15 火	休館日(熊谷会館)			15		15	火	
16 水				16		16	水	
17 木				17		17	木	
18 金				18		18	金	
19 土	19	彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ～立川志らくと 精鋭若手落語会 14:00	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)	19	19	バッハ・コレギウム・ジャパン バッハ 《マタイ受難曲》 開演16:00 ※予定枚数終了。	19	土
20 日				20			20	日
21 月				21			21	月
22 火				22			22	火
23 水				23			23	水
24 木				24			24	木
25 金				25	25	埼玉会館ランチタイムコンサート 第25回 NHK交響楽団 12人のチェリストたち 14:00	25	金
26 土				26			26	土
27 日				27			27	日
28 月				28			28	月
29 火	29	「わたしを離さないで」 18:00	休館日(埼玉会館)	29			29	火
30 水		13:30		30			30	水
5 may		5 may		5 may		5 may		
1 木		13:30/18:30		1			1	木
2 金		13:30		2			2	金
3 土		13:00/18:00		3			3	土
4 日		13:00		4			4	日
5 月				5			5	月
6 火		13:00	休館日(熊谷会館)	6			6	火
7 水		13:30/18:30		7			7	水
8 木		13:30		8			8	木
9 金		13:30		9			9	金
10 土		13:00/18:00		10			10	土
11 日		13:00		11			11	日
12 月			休館日(彩の国さいたま芸術劇場)	12			12	月
13 火		13:30		13			13	火
14 水		13:30/18:30	休館日(埼玉会館)	14			14	水
15 木	15	13:30		15			15	木
16 金		13:30		16			16	金
17 土		13:00/18:00		17			17	土
18 日		13:00		18			18	日
19 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			19			19	月
20 火	休館日(熊谷会館)			20			20	火
21 水	休館日(熊谷会館)			21			21	水
22 木				22			22	木
23 金				23			23	金
24 土		14:00/19:00		24			24	土
25 日		15:00		25			25	日
26 月	休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			26			26	月
27 火				27			27	火
28 水				28			28	水
29 木				29			29	木
30 金				30			30	金
31 土				31			31	土

### PLAY

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
彩の国さいたま寄席 四季彩亭  
～林家たい平とおすすめ若手落語会



夏の四季彩亭には、第1回彩の国落語大賞受賞、笑点でもおなじみの林家たい平が登場。どうぞお楽しみに。

Photo ©加藤英弘

チケット発売日 一般：4月19日(土)  
メンバーズ：4月12日(土)

日時：7月20日(日) 開演14:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
出演：林家たい平 ほか

チケット(税込)  
一般3,000円 メンバーズ2,700円 ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者) 2,000円

### 松竹大歌舞伎

中村歌昇改め 三代目 中村又五郎襲名披露  
中村種太郎改め 四代目 中村歌昇襲名披露



Photo ©松竹

チケット発売日 一般：5月10日(土)  
メンバーズ：5月8日(木)

日時：7月1日(火) 昼の部12:30 / 夜の部17:00  
会場：熊谷会館 ホール ※当日は熊谷駅・熊谷会館間の臨時バスを運行します。

演目：一、双蝶々曲輪日記『角力場』  
二、三代目中村又五郎 四代目中村歌昇 『襲名披露 口上』  
三、近松門左衛門作 『傾城反魂香』土佐将監閑居の場

出演：中村吉右衛門、中村又五郎、中村歌昇 ほか

チケット(税込)  
一般：特等席6,000円 / 一等席4,500円 / 二等席2,000円 / おためし席1,000円  
メンバーズ：特等席5,400円 / 一等席4,100円

### CINEMA

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
『ピーター・ブルックのザ・タイトロープ(原題)』  
『Brook by Brook』

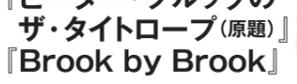


Photo ©P. Brook

チケット発売日 一般：4月6日(日)  
メンバーズ：4月5日(土)

### MUSIC

埼玉会館ファミリー・クラシック  
熊谷会館ファミリー・クラシック  
夏休みオーケストラ!

子どもから大人まで、オーケストラの魅力を体感できる人気企画。2会場でそれぞれ異なることもソロリストが登場!

チケット発売日 一般：3月30日(日)  
メンバーズ：3月29日(土)

日時・会場：  
7月27日(日) 開演14:00 埼玉会館 大ホール  
8月3日(日) 開演15:00 熊谷会館 ホール

出演：飯森範親(指揮)、朝岡 聡(ナビゲーター)、東京交響楽団(管弦楽)

埼玉会館：中村崇仁(ピアノ/第67回全日本学生音楽コンクール全国大会 小学校の部 第1位)  
熊谷会館：大関万結(ヴァイオリン/同大会 中学校の部 第1位)

曲目：♪指揮者に挑戦! ビゼー/《カルメン》前奏曲  
♪みんなて歌おう&演奏しよう!  
久石譲/《さんぽ》ほか

チケット(税込)  
一般：大人 S席3,500円/A席3,000円 子ども(3歳～中学生) S席1,500円/A席1,000円  
メンバーズ：大人 S席3,200円/A席2,700円

### 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第26回

塚越慎子 マリンバ・リサイタル



Photo ©Shingo Azumaya

チケット発売日 一般：4月20日(日)  
メンバーズ：4月19日(土)

日時：9月18日(木) 開演12:10(終演予定13:00)  
会場：埼玉会館 大ホール  
出演：塚越慎子(マリンバ)、石黒唯久(ピアノ)

曲目：サラサーテ/ツィゴイネルワイゼン ほか

チケット(税込)  
全席指定 1,000円

### 彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念

ピアノ・エトワール・シリーズ  
アンコール! Vol.3 小菅 優



Photo ©Ryo Kosuge

チケット発売日 一般：4月19日(土)  
メンバーズ：4月12日(土)

※4公演セット券発売中

### 彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念

ピエール＝ロラン・エマール  
バッハ《平均律クラヴィーア曲集第1巻》  
全曲演奏会



Photo ©Felix Broede/DG

チケット発売日 一般：4月19日(土)  
メンバーズ：4月12日(土)

日時：10月4日(土) 開演15:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

チケット(税込)  
一般：正面席6,000円/バルコニー席5,000円(学生2,500円)  
メンバーズ：正面席5,500円

### 彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念

レ・ヴァン・フランセ



Photo ©青柳聡

チケット発売日 一般：4月19日(土)  
メンバーズ：4月12日(土)

日時：10月12日(日) 開演17:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

曲目：プーランク/六重奏曲 ほか

チケット(税込)  
一般：正面席6,000円/バルコニー席4,500円(学生2,000円)  
メンバーズ：正面席5,500円

### ◆「次代へ伝えたい名曲」第2回

仲道郁代 ピアノ・リサイタル

◆「新日本フィルハーモニー交響楽団 井上道義(指揮) 竹澤恭子(ヴァイオリン)

チケット発売日 一般：5月31日(土)  
メンバーズ：5月24日(土)

### [チケットの購入方法について]

#### インターネット



「SAF オンラインチケット」で、発売初日 10:00 から公演前日 23:59 まで受付いたします。

トップページの「チケット購入」からお進みください。

[PC・スマートフォン] <http://www.saf.or.jp/>  
[携帯] <http://www.saf.or.jp/mobile/>

#### 電話予約



●チケットセンター  
**0570-064-939**  
10:00～19:00(彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)  
※一部の携帯電話、PHS、IP 電話からは受付できません。

#### 窓口販売



下記窓口で直接購入いただけます。  
電話予約したチケットの引取もできます。

●彩の国さいたま芸術劇場(10:00～19:00)  
●埼玉会館(10:00～19:00)  
●熊谷会館(10:00～17:00)

※休館日をお確かめの上ご来場ください。

【クレジットカード決済→コンビニ発券】  
※チケット代のほかに、【チケット一枚につき】システム利用料 135 円、店頭発券手数料 105 円が必要です。

【コンビニ支払い→コンビニ発券】  
※チケット代のほかに、【お支払い1件につき】振込手数料 210 円(代金合計 3 万円以上は 410 円) 【チケット1枚につき】システム利用料 135 円、店頭発券手数料 105 円が必要です。

【クレジットカード決済→宅配便で配送】  
※チケット代のほかに、【配送1件につき】配送料 300 円が必要です。

【コンビニ支払い→コンビニ発券】  
※チケット代のほかに、【お支払い1件につき】振込手数料 210 円(代金合計 3 万円以上は 410 円) 【チケット1枚につき】システム利用料 135 円、店頭発券手数料 105 円が必要です。

【窓口で支払い・引取り】 ※手数料はかかりません。

現金もしくはクレジットカード決済、その場でチケットをお渡します。  
※手数料はかかりません。

※3歳以上のお子様から楽しんでいただける公演です。  
光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

PLAY

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
『わたしを離さないで』

詳細は  
⇒ P.4  
~5

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
彩の国さいたま寄席 四季彩亭  
~立川志らくと精鋭若手落語会



日時：4月19日(土) 開演14:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
出演：立川志らく、立川談笑、立川らく次、立川吉笑、立川志らく松  
チケット(税込)  
一般3,000円 メンバース2,700円  
ゆうゆう割引  
(65歳以上・障がい者) 2,000円

Photo ©加藤英弘

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
『海辺のカフカ』

詳細は  
⇒ P.6  
~7

DANCE

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
コンドルズ 埼玉公演2014新作  
『ひまわり』

詳細は  
⇒ P.8  
~9

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
フィリップ・ドゥクフレ  
『PANORAMA ーパノラマ』

詳細は  
⇒ P.10  
~11

MUSIC

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
ピアノ・エトワール・シリーズ  
アンコール! Vol.2 北村朋幹



日時：3月15日(土) 開演14:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
曲目：シューマン/4つのフーガ 作品72  
ベリオ/セクエンツァ IV  
スクリャーピン/ソナタ第10番 作品70  
ベートーヴェン/ソナタ第29番 変ロ長調 作品106「ハンマクラヴィア」

チケット(税込)  
一般：正面席3,500円  
メンバーズ：正面席3,200円  
※バルコニー席・学生席は予定枚数終了。

詳細は  
⇒ P.14  
~16

NHK交響楽団  
尾高忠明(指揮) 小山実稚恵(ピアノ)



Photo © Martin Richardson



Photo © Kazuo Matsuura

日時：7月5日(土) 開演16:00  
※15:25~15:40 指揮者 尾高忠明氏によるプレコンサート・トークあり  
会場：埼玉会館 大ホール  
曲目：ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番 八短調 作品18  
ショスタコーヴィチ/交響曲第5番 二短調 作品47

チケット(税込)  
一般：S席6,500円/A席5,500円  
メンバーズ：S席6,000円/A席5,000円  
※B席・学生B席は予定枚数終了。

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第25回  
NHK交響楽団  
12人のチェリストたち

詳細は  
⇒ P.17

彩の国さいたま芸術劇場開館20周年記念  
彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画  
「次代へ伝えたい名曲」第1回  
堤 剛 チェロ・リサイタル

詳細は  
⇒ P.12  
~13

# THEATER BRIDGE

Information

聴いて、知って、演奏して。パイプオルガンをもっと大好きに!

■「光の庭プロムナード・コンサート」  
×「ばらまつり2014」

「光の庭プロムナード・コンサート」は、彩の国さいたま芸術劇場の自然光の降り注ぐ情報プラザで、ポジティブ・オルガン(小型のパイプオルガン)の音色を楽しむ40分間のコンサート。5月は、劇場から徒歩5分ほどの与野公園で開催される「ばらまつり」との同時開催が決定!パイプオルガンとソプラノのアンサンブルで、バラにちなんだ曲などを交えてお届けします。約170種、約3,000株もの美しいバラが咲き誇る「ばらまつり」とともにどうぞお楽しみください。

光の庭プロムナード・コンサート  
~ばらまつりスペシャル~

【日時】5月17日(土) 開演14:00 ※入場無料・年齢制限なし  
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ  
【出演】宇内千晴(オルガン)、西 由起子(ソプラノ)  
【曲目】ウェルナー/野ばら  
ブラームス/薔薇は咲き出でぬ ほか  
【お問合せ先】彩の国さいたま芸術劇場 事業部 音楽担当  
TEL. 048-858-5506

「ばらまつり2014」

【日時】5月17日(土)~18日(日) 9:00~17:00  
【会場】与野公園(中央区本町西1丁目地内)  
【お問合せ先】ばらまつり実行委員会 TEL. 048-647-8339

■「みんなのオルガン講座」第8期受講生募集!

彩の国さいたま芸術劇場では、小型のパイプオルガン“ポジティブ・オルガン”に親しんでいただける講座を2006年に開始、オルガンの仕組みや歴史についてのお話を聞くレクチャーや、レッスンを通して演奏を学ぶコースを開設しています。講師は、東京藝術大学准教授であり、オルガン・チェンバロ・クラヴィコードのソリストやアンサンブル奏者として活躍中の大塚直哉氏。ジワジワとパイプオルガンのファンを増やしているこの人気講座。ふるってご応募ください!

レクチャー  
A)はじめて知るパイプオルガン(小学生以上)  
B)パイプオルガンの旅~17・18世紀南ドイツ編~(高校生以上)  
【日時】6月1日(日) A)13:15~15:00 B)10:00~11:30  
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大練習室  
【受講料】各回500円  
【申込締切】5月17日(土)消印有効 ※申込者多数の場合は抽選。

基本コース ※実技審査あり  
【日時】◆実技審査：6月1日(日) 15:30~  
◇グループレッスン全4回  
◇発表会：2015年2月8日(日)於：情報プラザ  
【実技審査参加費】500円  
【実技審査合格者・受講料】8,500円 ※テキスト代別  
【申込締切】5月1日(木)消印有効

【講座の内容、申込み方法について】※詳細はHPでもご確認いただけます  
彩の国さいたま芸術劇場 事業部 音楽担当 TEL. 048-858-5506

## メンバーズに入会すると便利で楽しい特典がいっぱい!! 年会費2,000円

- |                         |                      |                    |                                      |
|-------------------------|----------------------|--------------------|--------------------------------------|
| 特典その1<br>メンバーズ料金        | 財団指定の公演でメンバーズ料金      | 特典その4<br>財団情報誌をお届け | 公演情報満載の「埼玉アーツシアター通信」をお送りします          |
| 特典その2<br>優先予約           | 一般発売よりも先に人気公演のチケット販売 | 特典その5<br>チケット送料無料  | チケットは「安心のセキュリティバック(補償付き)」でお届け        |
| 特典その3<br>チケット購入はキャッシュレス | チケット代、年会費は便利な口座引落し   | 特典その6<br>プレオーダー    | 人気の公演では優先予約に先駆けてプレオーダーを実施 ※プレオーダーは抽選 |

ご入会希望の方は、メンバーズ事務局 TEL: 048-858-5507 (彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く 10:00~19:00)

## ACCESS MAP アクセスマップ



## 彩の国シネマスタジオ LINE UP 2014.4~6

料金：大人1,000円/小中高生800円(当日支払いのみ)



©1982 松竹株式会社  
原作・脚本：つかこうへい  
監督：深作欣二  
出演：松坂慶子、風間杜夫、平田 満 ほか  
(1982年/日本/109分)

4月11日(金)~13日(日)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

『蒲田行進曲』

11日(金) 11:00 / 14:00 / 17:00  
12日(土) 10:30 / 14:00 / 17:00  
13日(日) 10:30 / 14:00  
※11日11:00上映回は、視覚障がい者のための音声ガイドがつきます。イヤホン付FMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。  
※12日10:30上映回終了後、第三回彩の国映画甲子園グランプリ & 埼玉映画ネットワーク賞受賞作の上映があります。「ココちゃん、どこへ行ったの?」監督：平野隆弘(2012年/日本/111分)を、無料でご覧いただけます。



©2011 Sushi Movie.LLC

6月13日(金)~15日(日)

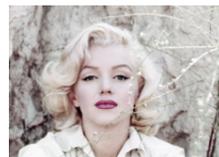
会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

ドキュメンタリー映画特集  
A.『二郎は鮫の夢を見る』  
B.『マリリン・モンロー 瞳の中の秘密』  
C.『クレイジーホース・パリ 夜の宝石たち』

13日(金) 10:30(A)/13:30(B)/16:45(C)  
14日(土) 10:30(A)/13:30(B)/19:00(C)  
15日(日) 10:30(A)/13:30(B)/17:00(C)

A.『二郎は鮫の夢を見る』  
監督：デヴィッド・ゲルブ  
出演：小野二郎 ほか  
(2011年/アメリカ/82分)

B.『マリリン・モンロー 瞳の中の秘密』  
監督：リス・ガルバス  
出演：マリリン・モンロー ほか  
(2012年/アメリカ・フランス/108分)



©2012 Diamond Girl Production LLC. All Rights Reserved.

C.『クレイジーホース・パリ 夜の宝石たち』  
監督：フレデリック・ワイズマン  
(2011年/フランス・アメリカ/134分/R15+)  
※映像に収められたショー「DESIRE」の演出・振付を手がけたフィリップ・ドゥクフレが8年ぶりに来日! 6/13~6/15に彩の国さいたま芸術劇場にて「パノラマ」を上演します。詳細はP.10~11



©2011 - IDEALE AUDIENCE - ZIPPORAH FILMS, INC. TOUS DROITS RESERVES - ALL RIGHTS RESERVED



©Vinod Chopra Films Pvt Ltd 2009. All rights reserved.  
監督・脚本：ラージクマール・ヒラニ  
出演：アーミル・カーン、カリナ・カプール、R.マータヴァン、シャルマン・ジョーシー ほか  
(2009年/インド/170分)

5月8日(木)~11日(日)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

『きっと、うまくいく』

8日(木) 10:30 / 15:00  
9日(金) 10:30 / 15:00  
10日(土) 10:30 / 15:00  
11日(日) 10:30 / 15:00

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / 武州ガス(株) / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行  
 (株) パシフィックアートセンター / (株) アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / 東京ガス(株) / カヤバ システム マシナリー(株) / (株) タムロン / (株) 十萬石ふくさや  
 森平舞台機構(株) / 東芝エルティーエンジニアリング(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有) 齋賀設計工務 / 武蔵野銀行 / 浦和ロイヤルバインズホテル / アルピーノ村  
 国際照明(株) / 三国コカ・コーラボトリング(株) / 埼玉スバル / 桶本興業(株) / (株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工 / (株) しまむら / (有) 六辻ゴルフセンター / 不動産(株)  
 ビストロ やま / 埼玉信用金庫 / (株) 栗原運輸 / 彩の国SPグループ / (有) ブラネッツ / 関東自動車(株) / (株) デサン / セントラル自動車技研(株) / 丸美屋食品工業(株)  
 ボラスグループ / ひがし歯科 / 埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株) 価値総合研究所 / (株) 埼玉交通 / 医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株) ウイズネット  
 サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 五光印刷(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株) / (株) エヌテックサービス / (株) クリーン工房 / (株) つばめタクシー  
 (株) サンワックス / (株) 総合舞台 / (株) タクトコーポレーション / 広総業(株) / (財) さいたま住宅検査センター / (株) 国大セミナー / (株) NEWSエンターテインメント  
 (株) オーガス / イープラス / 六三四堂印刷(株) / 医療法人 榎会 林整形外科 / 埼玉県整形外科医会 / 医療法人社団 山粋会 山崎整形外科 / サンケイリビング新聞社 / (株) 三和広告社  
 (株) セノン / 東京新聞ショッパー / (株) 松尾楽器商会 / (有) 中央舞台サービス / JA埼玉県中央会 / 日本大学芸術学部 / (株) 川口自動車交通 / (株) ホンダカーズ埼玉  
 ファミリーマートあすまや / (株) セブンドリーム・ドットコム / (有) 杉田電機 / 丸茂電機(株) / 太平ビルサービス(株) / さいたま支店 / (株) 片岡食品 / (株) 協栄  
 (株) ヨコハマタイヤジャパン / NTT東日本 埼玉支店 / チャコット(株) / (株) 平和自動車 / 光陽オリエントジャパン(株) / 埼玉建設(株) / さくらMusic Office / 神田大塚法律事務所  
 クワバラ・バンブキン / 駒橋内科医院 / 東和産業(株)

【お問合せ先】(公財) 埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507

H26.2.25 現在 / 一部未掲載



## ストラディヴァリウスのチェロ

文◎奥田佳道 (音楽評論家)



.....  
 ▲  
 アントニオ・  
 ストラディヴァリ

イタリアン・オールド・ヴァイオリンの匠アントニオ・ストラディヴァリ(1644?~1737)はチェロも創った。現存するストラディヴァリウス(ラテン語表記、楽器名)のチェロは5、60挺と言われている。

チェロは彼の時代にチェロになった。えっ、どういうこと? 音楽史をひもとけば、チェロは16世紀(1500年代)の前半に現れ、1600年頃には現在の調弦法も確立したとあるのに。

平たく申せば、ストラディヴァリが仕事を本格化させた頃、チェロの大きさはまちまちだった。呼び名も様々。ヴァイオリン属の、いろいろなサイズの中低音楽器のことを、総称としてヴィオロンチェロと呼んでいたのである。

1600年代の終わりから1710年代にかけて、胴長約75センチのチェロがストラディヴァリらによって創られ、この大きさがひとつの基準となる。弦も5本から4本になった。モーツァルトの父レオポルド(1719~1787)も著書『基礎ヴァイオリン奏法』のなかで、当時の低音弦楽器の形状や演奏法について触れている。

ちなみにストラディヴァリが創ったチェロは、フォイアーマン(1902~42)、ピアティゴルスキー(1903~76)それにデュ・プレ(1945~87)も愛した。銘器と言えば、ヴェネツィア派のゴッフリヤーやモンタニャーナ、トリノのグアダニーニ、ミラノのテストレー兄弟のチェロも名高い。これらの「オールド」楽器はヴァイオリン同様、19世紀中葉に「モダン」楽器となり、エンドピンも考案される。近代奏法の始祖としてパブロ・カザルス(1876~1973)の名を挙げておこう。

チェロは弦楽器の王である。女王ヴァイオリン、アンサンブルの要ヴィオラ、低音の雄コントラバス関係者からの抗議は、ここでは受け付けない。豊麗な音域を誇るチェロは、無伴奏はもちろん、4人でも8人でも12人でも素晴らしい。これは他の楽器に出来ない真似の出来ない芸当である。

.....  
 ▲  
 ストラディヴァリウスの  
 チェロ、セルヴェ  
 (スミソニアン博物館所有)

